



市養だより

平成19年2月22日

広島市立広島養護学校長 嶽野 壽正

校名の変更について

以前にもお知らせしましたが、学校教育法が改正されて平成19年4月1日より施行されます。今回の改正は、近年、児童生徒等の障害の重複化や多様化に伴い、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育の実施や、学校と福祉、医療、労働などの関係機関との連携がこれまで以上に求められるという状況に鑑み、児童生徒等の個々のニーズに柔軟に対応し、適切な指導及び支援を行う観点から、複数の障害種別に対応した教育を実施することができる特別支援学校の制度を創設するとともに、小中学校における特別支援教育を推進することなどにより、障害のある児童生徒の教育の一層の充実を図るものであります。

現行の「特殊教育」が「特別支援教育」という名称に改正されます。また、盲学校・聾学校及び養護学校が「特別支援学校」と改正されます。これに伴いまして、本校の名称も4月1日より「広島市立広島養護学校」から「広島市立広島特別支援学校」となります。来年度は「特別支援学校」としての新たなスタートの年です。負託にこたえられるよう頑張っていきたいと思っております。

この度の卒業生が広島市立広島養護学校の名称でもらう最後の卒業証書となります。時代の流れを感じるとともにひととき感慨深いものがあります。市養だよりも4月からは名称を変えようと思っております。

保護者アンケートのまとめ

保護者の皆様にはアンケートへのご協力ありがとうございました。本年度をふりかえり、来年度の計画を立てるのに大変に参考になります。保護者の皆様のご意見を参考にして今後の取り組みに生かしてまいりたいと思っております。

アンケートの回収率は約57%でした。半数以上の保護者の方にお答えいただくことができました。平均は4点満点中の点数ということです。どの項目も3以上の評価をいただくことができ、来年度への大きな励みともなりました。また、お気づきの点も記入してもらっています。教員の専門性の向上や一人ひとりを大切にしている指導の徹底など今後の課題をご指摘いただきました。また、配布物なども連絡帳に記入するようにすればより確実だろうと思っております。なお、運動会の休日開催についてのご意見もありましたが、12月の市養だよりですでお知らせしたとおりです。

来年度のさらなる飛躍に向けて頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

質問内容	平均	コメント
個別の指導計画は指導に活用されている	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の様子をよく把握し、的確な指導をして下さり感謝している。 ・ 先生方も学校も前向きに取り組んでおられる。アンケートはとらなくてもいい。
個別の教育支援計画は指導に活用されている	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員が少ない中、熱心に対応していただき感謝している。運動会などの行事が日曜日でないのが寂しい。 ・ 子どもの特性をより知って欲しい。PT、OTとの連携を密に。 ・ 指導計画が紙面上だけのものにとどまらず、どう指導するのか連絡帳などで伝えてもらい、あゆみ渡しだけでなく、随時確認できればよい。
個別の移行支援計画は指導に活用されている	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多忙なかで一生懸命やっていただき感謝している。支えてもらっている。
障害の把握が的確で子どもに応じた指導がなされている	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の指導はしっかりされている 目標もすばらしい ・ 教職員の専門知識の充実を望む ・ については教室不足から評価が低くなっている。
教室(スケジュール表示やコーナー等の配置を含む)は児童生徒の実態に合うように工夫されている	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ はBとしたが現在の校舎・施設では現状以上のことを望むのは無理と思う ・ 支援計画の福祉の部分の指導の活用が分らない ・ すべての学年に目が行き届いているか疑問? 現実的には一人一人を大切にはなっていない
教室内外の整理整頓や掲示物の工夫が行われている	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配布物に関して何が配布されたか伝達事項がないかぎり、子どもが持って帰ったかどうか分らない。 ・ 障害の把握は先生方の勉強も足りないのではと思うところも見受けられる。 ・ 学校からの情報について、学級便りがあるとうれしい。学年だよりは学級ごとの内容が少ないので。
学校からの情報(学校だより・学年だより・学校Web・各種お知らせ等)の内容は充実している	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整理整頓は物理的に無理だと思う。がんばっていると思われる。 ・ 学校以外の地域のプリントは必要ないと思う。 ・ 個別の指導計画はすばらしい。評価それも指導者と親との話し合いで出すものがあればよいと思う。 ・ 入学時もっと先生と話し合う時間が欲しい。先生の専門的知識を高めて欲しい。 ・ 障害の理解が浅い。親との話し合いを持っていたら。懇談の時間が欲しい。

豆を撒く 子らの笑顔が 福まねく (吉)